

長期ビジョン「GP25」

2015年、大建工業グループは創立70周年を迎えるにあたり、10年後の2025年を目指した長期ビジョン「GP25 (Grow / Glow Plan 25)」を策定しました。

長期ビジョン「GP25」では、既存事業の深耕と拡大、新たな市場拡大を通じて、これまでの「住宅用建材メーカー」から「建築資材の総合企業」へと成長することをめざす姿(企業像)として掲げています。また、その実現に向けたロードマップとして、3ステップの中期経営計画を設定し、事業活動を展開しています。

2025年 長期ビジョン 「GP25」 Grow/Glow Plan 25



存在意義・志

- 1 限りある資源の有効活用を通じてサステナブルな社会の実現に貢献する
- 2 より快適・安心な空間づくりを通じて人々の心を豊かにする

2025年のありたい姿

- 1 木材などの持続可能な資源を活用した素材の開発・グローバル市場への普及を通じて、循環型社会に貢献する
- 2 ニューノーマル時代のユーザーニーズを捉えたソリューション提案により、誰もが安全・安心・健康・快適な空間を創出する
- 3 挑戦を支える仕組みを確立し、挑戦を称賛する風土が醸成され、新たな事業領域への挑戦が進んでいる
- 4 多様性のある人材が働きやすく、働きがいのある職場環境を実現するとともに、公正・透明な経営が持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を支えている

長期ビジョン「GP25」で目指す事業領域と市場・分野

現在の「住宅用建材のメーカー」という姿から、

- 建材だけでなく、建材に使用する素材の供給から施工・工事まで手掛ける
- 住宅だけでなく、公共・商業建築分野、産業資材分野まで幅広く展開する
- 国内だけでなく、海外に展開する



長期ビジョン実現に向けた中期経営計画

2025年 長期ビジョン「GP25」 実現に向けて



長期ビジョン「GP25」で目指す成長軌道

今後、日本国内の新設住宅着工戸数の減少が見込まれる中、新築住宅市場でのシェアアップに加え、注力市場と位置付ける「海外市場」「公共・商業建築分野」「住宅リフォーム・リノベーション市場」の拡大を目指しています。これら注力市場に経営資源を積極的に投入することで、国内の新設住宅着工戸数が減少する中でも、成長し続ける企業への変革を進めていきます。

国内新設住宅着工戸数が減少する中でも、成長し続ける企業へ

